

平成19年度 (社)外国映画輸入配給協会 事業報告

平成19年度定時総会

平成20年度通常総会は6月13日に開催された。総会において平成19年度事業報告書、収支計算書並びに平成20年度事業計画、収支予算承認、理事選任に関する件が議され承認された。理事の任期満了に伴い下記が承認可決された。

会長：迫本 淳一 副会長：松岡 宏泰 常任理事：椎名 保 理事：豊島 雅郎・林 瑞峰・杉山 章・依田 巽・春名 慶・角川 歴彦・廣瀬 敏雄・大蔵 満・長瀬 文男・升本 喜郎・風野 健治・幸田 順平 監事：中 雅俊・岩崎 敏久 参事：大西 幸記・気賀 純夫・柴田 駿・植村 伴次郎・長谷川 憲・吉村 毅・堀江 昭雄・香月 淑晴・佐藤 直樹・中野 理恵・松下順一・伊藤 重樹・定井 勇二・酒匂 暢彦・岩倉 達・唯敷 和彦・沖田 敦・分部 至郎・花田 康隆・石田 雄治・甲斐 真樹・橋本 太郎・会田 郁男

平成20年度(平成20年4月1日～同21年3月31日)事業計画を次の通り設定。

社団法人映画産業団体連合会傘下であり、わが国唯一の邦人系外国映画輸入配給業者の団体として、一層安定した運営を図りながら、社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、外国映画通関連絡協議会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等関連諸組織との提携を密接にすることにより映画界全般の活動にも貢献していく。

主な事業は以下の通り。 国映画事業、映画関連法規などの調査、研究ならびに資料の収集、作成。 優秀な外国映画の保存及び公開。 「トーキョーシネマショー2008」の開催。 第47回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施。 国際協力に資する各種映画祭の開催及び強直。 輸入外国映画の品質、興行成績および事故による損傷、滅失などの評価、鑑定または証明。 「映画サービスデー」実施をはじめとする都興連・全興連事業への協力 輸入外国映画の国際取引にかかわる紛争解決への斡旋。 劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策。(昨年施行された「映画館の盗撮防止に関する法律」に則り、

「映画館へ行こう！」実行委員会を核として、盗撮防止のための措置を講ずるよう努める。)

前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成させるために必要な事業として、「映画館へ行こう！」キャンペーン事業への参加。 副音声つき特殊上映事業への取り組み。

年頭名刺交換会の開催。 協会創立50年(2012年)へ向けての記念事業の企画。

平成19年に行った事業は以下の通り。

1. 外国映画事業、映画関係法規等の調査、研究ならびに資料の収集及び作成
「外国映画作品目録」(前年4月から3月まで日本で配給された作品目録・19年1月発行)及び「外画概況」(国別・会社別・7月、1月)の発行。
2. 優秀な外国映画の保存及び公開
東京国立近代美術館フィルムセンターへ研究用資料として、今年度当協会会員各社より寄贈された作品は0本であった。映画雑誌は1社より3622冊の寄付があった。

3. 「トーキョーシネマショー2007」の開催

会場：内幸町イイノホール

会期：8月7日(火)から12日(日)(6日間)

主催：(社)外国映画輸入配給協会

共催：(社)日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、GTFトウキョウフェスティバル実行委員会

後援：経済産業省・(財)日本映像国際振興協会・特定非営利活動法人映像産業機構
プログラム

8月7日

2007秋～2008ラインナッププレゼンテーション。(ナビゲーター襟川クロ)

スペシャルイベント 「筑紫賞：ゴールデンタイトル・アワード」授賞式

受賞 「不都合な真実」(UIP)

トークショー 「母べえ」の山田洋次監督と原作者野上照代さんを迎え-「母べえ」に見る親子のかたち～映画の可能性～-

ホスト： 草野満代

ゲスト： 山田洋次(映画監督)、野上照代

試写会

8月8日「遠くの空に消えた」「幸せのレシピ」

8月9日「伝染歌 でんせんうたー」「モーター」

8月10日「ミス・ポター」「パーフェクト・ストレンジャー」

8月11日「Life 天国で君に逢えたら」「包帯クラブ」「ブラック・スネーク・モーン」

8月12日「アーサーミニモイの不思議な国」「ファンタスティック・フォー：銀河の危機」「グッド・シェパード」

なお「GTFトーキョーシネマショー2007」パンフレットには、外配協、映連各社、MPAの2007年秋以降のラインナップ作品273本を掲載、来場者に無料で配布し紹介に努めた。

4. 第46回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施

昭和37年(1962)より通商産業省(現経済産業省)の後援を得て発足した「優秀外国映画輸入配給賞」は平成19年度で46回目を迎えた。第46回は平成19年4月1日から20年3月31日までの1年間に、作品的に優秀で、かつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与するものと認められた外国映画を輸入公開した配給会社を表彰するため、11名の審査員により、第一回(2月6日)第二回(3月5日)に厳密な審査会が行われ各賞が決定した。

審査委員：品田雄吉(審査委員長)秋山登(副委員長)明智恵子、伊藤道一、宇井寿之、大高宏雄、岡政人、佐藤雅昭、土屋好生、富田勲、藤井真也

主催：社団法人 外国映画輸入配給協会

後援：経済産業省

選考結果：経済産業大臣賞

株式会社ギャガ・コミュニケーションズ

「バベル」「ボルベール(帰郷)」「ヘアスプレー」「アース」

「シッコ」(株)博報堂メディアパートナーズ共同配給)

「ライラの冒険 黄金の羅針盤」(松竹(株)共同配給)

特別賞

ワーナーエンターテイメント ジャパン株式会社

ワーナー・ブラザーズ映画

「ハリーポッターと不死鳥の騎士団」「オーシャンズ13」「スウィニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師」

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

「パイレーツ・オブ・カリビアン ワールドエンド」「レミーのおいしいレストラン」

「ナショナル・トレジャー リンカーン暗殺者の日記」

東宝東和株式会社

「ボーン・アルティメイタム」「アメリカン・ギャングスター」「エリザベス・ゴールデン・エイジ」

奨励賞

株式会社ショウゲート

「ぜんぶ、フィデルのせい」「once ダブリンの街角で」「ノーカントリー」(パラマウント ジャパン共同配給)

株式会社ワコー

「トゥヤアの結婚」(グアパグアポ共同配給)「雲南の少女ルオマの初恋」(グアパグアポ共同配給)「白い馬の季節」(株)フォーカスピクチャーズ共同配給)

5. 国際協力に資する各種映画祭の開催協力

1. 以下の映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裏に行われるよう協力した。
2. 第20回東京国際映画祭運営に協力し、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作に協力した。

平成19年度 外配協後援各種映画祭

映画祭	会期	会場
GTFグレートウキョウ フェスティバル 2007	平成19年7月1日(日) ～9月30日(日)	東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の各会場
SKIPシティ国際Dシネマ 映画祭2007	平成19年7月14日 (土)～7月22日(日)	SKIPシティ彩の国ビ ジュアルプラザ映像ホー ル、ほか
あいち国際女性映画祭 2007	平成19年9月1日(土) ～9月9日(日)	ウイルあいち(愛知県女 性総合センター)小牧市、 大阪市、豊明市、田原市、 北名古屋市
ブラジル映画祭 2007	平成19年9月5日(水) ～9月9日(日)	東京国際フォーラムD1
山形国際ドキュメンタリー映 画祭2007	平成19年10月4日 (木)～10月11日 (木)	山形市中央公民館、市内 各映画館、ほか
第20回 東京国際映画祭	平成19年10月20日 (土)～10月28日 (日)	渋谷Bunkamura、六本 木ヒルズ、ほか
ブラジル映画祭 2007(名古屋開催)	平成19年10月20日 (土)～11月2日(金)	伏見ミリオン座
TIFFCOM2007～ア ジア・パシフィック・エンタ テインメント・マーケット～	平成19年10月22日 (月)～10月24日 (水)	六本木ヒルズ 森タワー 40階、49階
第12回 神戸100年映画祭	平成19年10月25日 (木)～11月11日 (日)	ピフレホール(新長田)、 県民ホール、神戸アート ビレッジセンター

大阪アジア映画祭 2007	平成19年11月2日 (金)～11月23日 (金)	そごう劇場(そごう心齋 橋本店)、シネ・ヌーヴ オ(九条)、プラネット・ス タジ・プラス・ワン(梅 田・中崎町)
第14回 大阪ヨーロッパ映画祭	平成19年11月3日 (土)～12月7日(金)	リサイタルホール、フェ スティバルホール、ほか
中国映画祭2007	平成19年11月22日 (木)～11月25日 (日)	東京(花月ホール)横浜 (ムービル)
東京国際シネシティフェステ ィバル2007	平成19年11月23日 (金)～11月25日 (日)	新宿ミラノ1
フランス映画祭2008	平成20年3月13日 (木)～3月18日(火)	TOHOシネマズ六本木 ヒルズ、TOHOシネマ ズなんば

6. 輸入外国映画の品質、興行成績および事故による損傷、滅失などの評価、鑑定または証明

12月1日「映画の日」ならびに東京都興行生活衛生同業組合(都興連)が主催する毎月一回、年12回(「映画の日」含める)実施される「映画サービスデー」に協力するとともに都興連が作成する同日の興行成績対比などの資料を活用し観客動員の増加に努めると同時に輸入外国映画の品質、興行成績、興行における事故などの最新の情報収集に努めた。

7. 輸入外国映画の国際取引にかかわる紛争解決の斡旋

1. 当協会会員各社は作品契約に際して諸般の事情の許す限り情報交換を行い、買い付けにあたっての重複を避けるとともに、過当競争を防止し、日本における輸入配給事業の健全な発展を図るよう努力した。

2. 劇場用長編外国映画のビデオカセット、DVD及びブロードバンドをはじめとする映像産業の多様化に伴う諸対策に関する件

インターネット上で劇場用長編映画を違法に複製するなど海賊版DVDには、日本の健全な輸入配給事業の発展を阻むものであることから、(社)日本映画産業団体連合会、(社)日本映画製作者連盟、モーションピクチャーアソシエーション(MPA)全国興行生活衛生同業組合連合会、(社)日本映像ソフト協会、日本映

画著作権協会ほかと緊密な連絡のもとに諸対策を検討した。その結果「映画の盗撮に関する法律」が政府関係者の大きな理解と協力を得て5月30日に公布され8月30日施行された。これに合わせ映画業界団体は、ただちに映連、全興連、MPA、外配協で組織する「映画館へ行こう！」実行委員会を中心として以下を実行した。

6月21日「映画盗撮防止法キャンペーン記者会見」を実施

6月30日から全国全劇場（3200スクリーン）で「盗撮防止キャンペーン」30秒CMを上映

映画盗撮に関する情報提供の場として「違法対策室」の設置。フリーダイヤルとHPを告知。

「映画産業関係事業者向けガイド・映画盗撮防止法Q&A」ならびに「映画盗撮防止マニュアル」を作成配布。

8. 前各号にかかげるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業。

「映画館へ行こう！」実行委員会、キャンペーン事業への参加

前項7. で詳細に掲載済みの「映画盗撮防止キャンペーン」のほか同実行委員会が任命した映画大使 筑紫哲也氏の発案で、実行委員会が創設した「筑紫賞：ゴールデンタイトル・アワード」の3度目の授賞式を「GTFトーキョーシネマショー」の中で行った。また若い世代の映画人口拡大を目標として、高校生に的を絞ったキャンペーンを実施中で3年目を迎えた。

副音声付等特殊上映事業

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に活動を続けており「GTFトーキョーシネマショー2007」の試写会で「包帯クラブ」の副音声上映と「アースートミニモイの不思議な国」の点字解説の用意などを試みた。

年頭名刺交換会の開催

モーションピクチャーアソシエーション(MPA)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、政策、メディア関係者814名が参加して、外国映画輸入配給事業の健全な発達と経済の発展、文化の向上を目的として平成20年1月7日「年頭名刺交換会」を開催した。

各種映画賞運営協力

第31回「日本アカデミー賞」第62回「毎日映画コンクール」第50回「ブルーリボン賞」などの映画賞に対し運営協力、後援を行った。

(社)映画産業団体連合会会員としての活動

英団連の正会員として、当協会会長は理事として提示総会、定例理事会(9回)に出席、事務局長はオブザーバーとして同席。また映団連会員団体事務局長連絡会議への出席、第51回「映画の日」の運営協力など映団連の会員として当

協会の基盤の安定に努力した。

第51回「映画の日」永年勤続功労賞受賞者（当協会推薦者）は以下の通り。

氏名	会社名	役職名
岩瀬 嘉之	(株)シナジー	営業部長
藤原 義久	アオイスタジオ(株)	平成18年11月同社顧問退任
合計2名		

9. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とMPA加盟会社の合計25社の宣伝部長で構成される宣伝部長会を（10回）開催、直面する諸問題の検討、情報交換を行いながら映画観客増大につながる宣伝活動に対し環境整備を行った。また（社）映画製作者連盟と協力して2008映画ジャーナリスト・宣伝部合同年賀の会を1月10日に開催、交流を深めた。

10. 平成24年に迎える創立50年記念事業に対し「創立50周年記念事業企画委員会」を通して外配協各部会に通知され審議された。

社団法人 外国映画輸入配給協会
事務局長 幸田順平